

健康のひろば

院内報

2008.

3

月号

ホームページ <http://www.kakegawa-hsp.jp/>

愛365日 掛川市立総合病院



津軽三味線の夕べ

2月4日(月)、津軽三味線全国大会三連覇チャンピオンの松田隆行さんによる「津軽三味線の夕べ」が、当院外来にて開催されました。

これは、もと病院職員である村松久子さんとNHK厚生文化事業団の安藤昇氏のご厚意で実現したものです。迫力ある津軽三味線の音色と唄に、患者様も聞き入っていました。

C・O・N・T・E・N・T・S

② 患者さまと一緒に築く
医療安全文化

③ 糖尿病研究会日程
マスク・手洗いを忘れずに
病院の概況
認定試験に合格

④ ナースキャップ

● 助産師・看護師募集中!

詳しくは、管理課 庶務係 ☎0537-22-6211まで

あなたが “いのちの主人公” からだの責任者”

①伝えたいことは
メモして準備して



②対話の始まりは
あいさつから



③よりよい関係づくりは
あなたと共に

④自覚症状と病歴は
あなたからの大切な情報



⑤これからの見通しを
聞きましょう

⑥その後の変化も
伝える努力を



⑦大事なことは
メモをとって確認

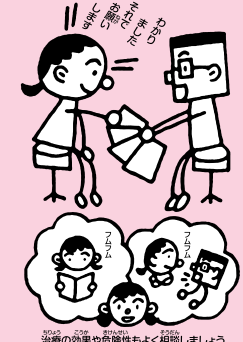
⑧納得できないときは
何度でも質問を



⑨医療にも不確実なことや
限界がある



⑩治療方法を決めるのは
あなたです



平成18年度の診療報酬改正で「医療安全対策加算」が急性期病院に認められました。当院でも医療安全管理者が専任となり、病院内の安全管理をしています。

業務内容として、医療事故の対応や患者さまに安全な医療が提供できるようにスタッフからヒヤリハット報告書を提出してもらい、一つ一つを検討し対策を院内に周知します。また、患者相談窓口も行っていきます。

医療機関では、皆さんが安心して安全な医療を受けられるように日々努力しています。しかし私達医療者も「人」は誰も完全ではありません。まれであつても起こりうるエラーを防ぐ機会を作ることが必要なのです。事故防止・安全管理は総力戦と言われています。

市民のみなさまや患者さま・ご家族の方にもご理解を頂き、治療を行うチームの一員となつてご自身の安全に参加して頂きたいと思ひます。

「あなたの安全を守る10か条」に協力下さい。
(医者にかかる10か条及び医療事故から身を守るための20の助言より引用)

こんなことがありました

「鈴木さん」とお呼びしたら、「はい」と『山田さん』から返事が返ってきました。

- 呼ばれたのは本当に自分の名前?
→復唱 「はい、〇〇〇〇です」
- チョッと変だなと思ったら...
→確認 「もう一度、教えてください」



1 病院内の医療安全管理室を
ご存知ですか?

2 患者さまと一緒に築く
医療安全って何?

患者さまと 一緒に築く 医療安全文化

医療安全管理室 青木春美

3 患者さまに
お願いしたいこと!

院内ではお名前を名乗ってください。
採血やレントゲン撮影時、入院中に点滴をする前や薬を飲む時、手術室に入る時など患者さまにお名前を名乗って頂いています。

平成20年度 中東遠糖尿病研究会日程表

医院・病院等に勤務するメディカルスタッフを対象に開催する勉強会です。
糖尿病患者さま指導のレベルアップ、院内外の病診連携のために、ぜひご参加ください。

月 日	テーマ	講 師
4月19日(土)	糖尿病の基礎知識	服部忠和先生(はっとり内科医院)
5月17日(土)	食事療法	管理栄養士
6月21日(土)	運動療法 SMBGとデーターの読み方	理学療法士 臨床検査技師
7月26日(土)	薬物療法	薬剤師

8月以降は、追ってお知らせします。

開催時間 14:00～16:00

会 場 掛川市立総合病院サロン講義室

参加料 無料(テキストについては各自ご用意ください) ※特別講演会は有料です。

申・問 中東遠糖尿病研究会

世話人代表 榛村通江 掛川市立総合病院 副看護部長 ☎0537-22-6211 内線2706

※日本糖尿病療養指導士認定機構の認定単位更新のための講習会として申請します。



岩崎 朋弘
二級臨床検査士:病理

岩崎 さおり
二級臨床検査士:微生物

鈴木 直子
糖尿病療養指導士

坂部 かほろ
接遇トレーナー

認定試験に合格!!



**マスクの着用・
手洗いしましょう!**

少しずつ春めいてきましたが、インフルエンザやノロウイルスに加え、麻しんなどの感染症の流行がまだまだ心配です。
病院に入る前、家に帰ったあとは、必ず、マスクや手洗いなどの感染防止を行いましょう。

病院の概況

(1月)

患者数	区分	人数 [名]		前月対比 [名]
		延べ	1日平均	
外来	入 院	延べ	18,672	-832
		1日平均	983	44
入院	男の子	延べ	11,452	257
		1日平均	369	8
赤 ちゃん生	女の子		15	-1
	計		30	2
人間ドック受	1泊2日コース	延べ	14	7
		1日平均	14	7
	日帰りコース	延べ	563	-62
		1日平均	29	-3
脳ドック計		3	0	
			580	-55

優れた専門知識と技術を身につけた者に与えられる認定試験に、当院から新たに4名が合格致しました
「臨床検査士」は、臨床検査室において医師の指示のもと、検査業務を正しく行えるもの。「糖尿病療養指導士」は、患者さまが糖尿病治療を実践していく上での相談相手をしながら援助していくもの。
また「接遇トレーナー」をもつ職員もいる当院の検査室では、みなさまが安心して病院にかかっていただけという、常に研鑽を積み重ねてまいります。

看護部
だより

ナースキャップ

No.10

固定チームナーシング発表会

H20.2.10

毎年、固定チームナーシングの発表会が行われます。2月10日徳育保健センターで口頭発表、ポスターセッションがありました。講師として元飯田病院の松島令子先生と全国的に看護界で有名な西元勝子先生をお招きし、他病院からの参加者も40人を超え盛大な発表会となりました。



ランチョンセミナー 松島令子先生と杉山師長



発表者 塚本さん



特別講演 西元勝子先生



発表者 栗田さん、河本さん



発表会参加風景

固定チーム ナーシングとは

固定チームナーシングとは、小集団理論をベースにした、チームで看護を提供する看護方式です。目的は、継続した責任ある看護の提供と看護のやりがい感を実感することです。年間目標達成に向けて、チーム活動を行います。

肝臓病教室

C型慢性肝炎の治療にはインターフェロンが使用されますが、副作用が多いこと、治療期間が長いこと、医療費が高額であること等の理由から治療に踏み切ることが出来ない方がいます。

今回の教室は、袋井市民病院との共同開催で、袋井の高柳医師、掛川の小野医師の病気と治療のお話の後、薬剤師・栄養士・看護師からそれぞれ専門的立場からのお話をしました。また2名の治療経験者に体験談を話していただきました。アンケートでは、体験談が好評で「体験談を聞いて治療を決定した。」「今後の治療について主治医に相談しようと考えた。」と答えられた方がいました。

35名の参加者にとって、とても有意義な教室となりました。



治療計画をクリニカルパスで説明する清水さん

H20.2.16